

May
2013

The Record

vol.642

音の記録を後世に ～ SP 盤のデジタルアーカイブ事業にせまる

第3回香港アジアポップミュージックフェスティバル
(HKAMF) 開催



RIAJ
Recording Industry Association of Japan

Contents

Monthly News Digest.....	1
特集	
音の記録を後世に ～SP盤のデジタルアーカイブ事業にせまる... 4	4
特報	
第48回RIAJセミナー 「新入社員合同研修会・懇親会」開催.....	9
第3回香港アジアポップミュージック フェスティバル(HKAMF)開催.....	11
ヒット曲で振り返る昭和.....	12
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISC.....	14

3/12

CODA、台湾の日本ドラマ 海賊版製造拠点を初摘発

3月12日、台湾の台湾電信警察隊第2中隊により、日本ドラマの海賊版を製造していた「工場」が初めて摘発された。これは、当協会が加盟する一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構(CODA)が台湾著作権保護基金会(TFACT)とともに、台湾の大手オークションサイト「露天拍賣」において、日本ドラマの海賊版DVDを専門的に販売していた「TOKYO日劇」の調査を行ったところ、台中市の夜市で実店舗を構える「逢甲日劇」との繋がりが判明したことで、台湾電信警察隊第2中隊に取締りを要請していたものである。今回、関連箇所の搜索により、日本ドラマの海賊版の製造拠点が初めて摘発された。また、台湾のオークションサイトにおいて、日本ドラマの海賊版販売が摘発されたのも今回が初めてである。取締同日に行われた店舗の自宅搜索では、1,781枚の海賊版DVDが押収されたほか、店主の女性の自宅からも99枚の海賊版DVDが押収された。また、海賊版の製造工場兼倉庫として使われていたマンションの一室からは、5,497枚の海賊版DVDやデュプリケーター(DVD複製機)、パソコン、プリンターなどが押収され、「逢甲日劇」の店主の女性1人と協力者の女性1人が逮捕された。

3/21

「STOP!違法ダウンロード 広報委員会総会」開催

3月21日、当協会会議室において「STOP!違法ダウンロード広報委員会総会」が開催された。同委員会は、「私的違法ダウンロードの罰則化」に関する周知・啓発活動のため、昨年9月、当協会および一般社団法人日本音楽事業者協会(JAME)、一般社団法人日本音楽制作者連盟(FMPJ)、一般社団法人日本音楽出版社協会(MPA)、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会実演家著作隣接権センター(CPRA)、一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPN(MPN)および一般社団法人映像実演権利者合同機構(PRE)の音楽関連7団体により設立された。当日は、平成24年度の事業報告と収支報告が行われ、審議の結果、原案通り承認された。また、平成25年度の活動計画案が事務局より報告された。

3/29

理事会・総会開催

3月29日、当協会は第461回通常理事会および臨時総会を開催し、平成25年度事業計画書案および収支予算書が承認された(事業計画の詳細は、先月号にて掲載済み)。



4 / 1

Culture First、私的録音録画補償金制度に関するリリースを発表

4月1日、当協会も推進団体として参加する Culture First は、「私的録音録画補償金制度『作る、つなぐ、楽しむ』の関係をもう一度」と題したプレスリリースを発表し、関係行政庁などに対して、補償金制度を再考するための議論の場を設けるよう呼びかける方針を明らかにした。Culture First では、権利者、メーカー、ユーザー3者の「作る、つなぐ、楽しむ」という各立場を尊重しつつ利益を調整する役割を担ってきた私的録音録画補償金制度が形骸化している現状を鑑み、新年度を迎えて、新たな強い気持ちで「作る、つなぐ、楽しむ」の関係再構築に取り組む考えである。

プレスリリースの詳細は下記 URL を参照。

(Culture First プレスリリース URL)
<http://www.culturefirst.jp/pdf/pressrelease-20130401.pdf>



CULTURE FIRST
はじめに文化ありき

日本のレコード産業英語版「RIAJ Yearbook2013」を発行

当協会では、「日本のレコード産業2013」の英語版である「RIAJ Yearbook 2013」を発行しました。本誌は、2012年のレコード産業の概要を網羅したA4判28頁の小冊子で、日本語版と同様の内容で、レコードの生産実績、有料音楽配信売上、新譜・カタログ数、ミリオン認定、世界売上などを幅広く掲載しています。なお、本誌のPDF版については、下記当協会ホームページをご覧ください。

<http://www.riaj.or.jp/e/issue/index.html>



佐藤智則氏 逝去

日本クラウン株式会社前代表取締役社長の佐藤智則氏が、4月19日に逝去されました。

佐藤氏は、1977年に日本コロムビア入社、2000年に子会社のヒートウェーブ取締役社長に就任。その後ワーナーミュージック・ジャパンを経て、2010年に日本クラウン株式会社代表取締役社長に就任された後、本年4月1日、病氣療養に専念するため同社社長を退任されていました。当協会におきましては、2010年5月から本年4月まで理事を務められ、業界の発展のために、尽力されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

RIAJ2013年4月度理事会議案

■ 審議事項

1. 「違法ダウンロード罰則化」に関する周知キャンペーン費用を予備費から支出する件について
2. 違法ダウンロード罰則化周知活動等に関し業務委託契約を締結する件
3. 第6回CDショップ大賞 協賛名義使用および協賛金支出の件

■ 報告事項

1. 名義使用申請に関する件
 - (1) 日本民謡協会「第26回日本民謡フェスティバル2013」協賛名義使用依頼
 - (2) 電子情報技術産業協会「CEATEC JAPAN 2013」協賛名義使用依頼
 - (3) 文化庁「平成25年度著作権セミナー」協力依頼
 - (4) 内閣府「平成25年度青少年の非行・被害防止全国強調月間」協力依頼
2. 法制委員会関係報告
 - (1) 平成24年度違法対策実績報告
 - (2) コンテンツ専門調査会(4/12)／知財政策ビジョン検討WG(4/17)報告
3. 著作権保護・促進センター関係報告
 - (1) CPPC立ち上げ状況報告および素材提供のお願い
4. マーケティング委員会関係報告
 - (1) 大人の音楽キャンペーンについて
5. 広報委員会関係報告
 - (1) 平成24年度「職場訪問」受け入れ実績報告
 - (2) 「Recording Industry in Numbers 2013」公表における日本での報道状況について

●●●当協会役員人事●●●

■ 新任 (4月19日付)

[理事]

北島 一伸

日本クラウン株式会社
代表取締役社長

■ 退任 (4月1日付)

[理事]

佐藤 智則

日本クラウン株式会社
非常勤顧問

「知的財産推進計画 2013」及び「知的財産政策ビジョン」の策定に関する意見書を提出

知的財産戦略本部により実施された、「知的財産推進計画 2013」及び「知的財産政策ビジョン」の策定に関する意見募集に対し、平成 25 年 3 月 22 日、当協会から意見書を提出した。以下にその概要を紹介する。

○ デジタル・ネットワーク社会に対応した環境整備

1. インターネット上のコンテンツ侵害対策

(1) 違法配信の利用を助長するサービスまたはツール提供に対する効果的な施策の検討

動画共有サイト上に違法にアップロードされた違法配信のダウンロード支援サービスやツール、更には、動画共有サイトやオンラインストレージサービス等で提供される侵害コンテンツを一覧にして、それら侵害コンテンツへのリンク等の情報を利用者に提供する「リーチサイト」や「ランキングサイト」、そして、スマートフォン向けには、インターネット上の侵害コンテンツの検索機能を有するアプリケーションが開発・提供されている実態を把握した上で、これらを効果的に規制するための施策を早急に検討・実施するべきである。

(2) 権利者とプロバイダの協力による侵害情報の送信防止措置実施に向けた制度上の検討

各種施策の効果を適切に見極めながら、関係者の合理的措置導入にかかる取り組みを支援するとともに、実効性のある対策の実施に必要な制度上の措置を継続して検討すべきである。

2. 著作権侵害に関する普及啓発活動の強化

(1) 若年層への著作権教育の充実

若年層に対し著作権についての基本的な教育を行うことにより、著作権意識と規範遵守意識の向上を促し、正規コンテンツの利用へと誘導することが極めて重要である。私的違法ダウンロード罰則化に係る 2012 年 10 月 1 日施行の改正著作権法の附則において、国及び地方公共団体には違法なダウンロード行為の防止に関する教育・啓発等の措置を講じることが求められた経緯を踏まえ、関係省庁は、初等・中等教育に十分な著作権教育を盛り込むなど、若年層への著作権教育の充実に一層取り組むべきである。

3. 著作権制度上の課題の総合的な検討

(1) 私的録音録画実態に合わせた「私的録音録画補償金制度」の見直し等

政府は、私的録音録画補償金制度を実効性のあるものに見直すか、若しくは当該制度に代わる新しい権利保護の仕組みを喫緊の課題として検討すべきである。

(2) レコード保護期間の延長

国際的には、権利者に 50 年を超える法的保護を与えることが既に潮流となっている状況に照らして、コンテンツ立国を標榜する我が国においても、著作隣接権の保護期間を延長するべきである。

(3) 「法定損害賠償制度」の創設

被害者が権利侵害の事実を立証した場合には、具体的損害額を立証しなくても、一定の法定額を損害賠償額として請求することができる制度（法定損害賠償制度）を創設すべきである。

(4) 商業用レコードの業務上の利用からレコード製作者へ適正な対価が還元される制度の創設

公衆に聴かせるための商業用レコードの業務上の利用については、既に世界 125 カ国(OECD 加盟 30 カ国中 28 カ国)において、レコード製作者・実演家に報酬請求権ないし許諾権が付与され適正な対価が還元されている。我が国においても、権利保護の国際的調和を図るべきである。

(5) クラウドサービスやメディア変換サービスについて

専門調査会・ワーキンググループのこれまでの議論では、「クラウドサービスやメディア変換サービスといったサービス形態の発生に伴い、新たな産業の創出・拡大が期待されることから、利用するコンテンツに関する著作権の適用範囲等について改めて検討が必要。」との整理がなされている。ここでの著作権の適用範囲の検討とは、著作権法第 30 条の見直しを示唆したと思慮される。同条は、私的な範囲の零細な複製についての権利制限を定めたものであり、業としての複製サービスにまで権利制限の範囲を拡大するならば、著作物等の利用と保護のバランスを著しく失う状況が想定される。上記著作権の適用範囲等の検討は、極めて慎重に行うべきである。

○ クールジャパン戦略

1. 国内外のイベントを活用した総合的発信

(1) CO-Festa ~ TIMM の継続・発展

(2) オールジャパンコンテンツ情報センターの設置

(3) 中国における検閲制度の見直しについて

以上

音の記録を後世に ～ SP 盤のデジタルアーカイブ事業にせまる

1877年12月6日、エジソンは自身が発明した蓄音機に自らの声で「メリーさんの羊」を録音し、この再生に成功、この日はエジソンが蓄音機「フォノグラフ」を発明した日として知られることとなった。早くもその2年後（明治12年）には日本でもエジソン蓄音機の公開試聴が大々的に行われ、当時の新聞報道ではフォノグラフを「蘇音器」「蘇言機」「写話器械」など、各社苦心の末の日本語訳で掲載していたという記録が残されている。

エジソンから始まった音の録音・記録の歴史は、音楽産業としてはその10年後、ベルリナーによる量産化可能な平円盤レコード（所謂SP盤）の発明で繁栄を迎えた。日本でもSP盤の歴史は1900年初めに幕を開け、他に記録媒体が存在しなかった当時、音楽に加え講演や声明を記録する「時代の世相を伝える録音メディア」として重要な役割を担った。

歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）は、これらSP盤音源をデジタルアーカイブし、広く国民に公開・伝承する目的で2007年に設立された。2009年度からは4カ年計画によるデジタル化音源の国立国会図書館（NDL）への納品が開始され、この度2012年度をもって4万8,700音源のデジタル化とNDLへの納品が完了した。

今回の特集では、HiRAC設立の背景や取り組みとともに、NDLが提供する歴史的音源をはじめとしたデジタル化資料の概要を紹介する。

HiRAC設立当時は当協会会長職に就き、SP盤の散逸に危機感を覚え協議会設立の陣頭指揮を執った佐藤修 HiRAC代表幹事からコメントをいただいた。

歴史的音盤アーカイブ事業終了にあたって

歴史的音盤アーカイブ推進協議会 代表幹事 佐藤 修

歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）はSP盤のデジタルアーカイブを目的として2007年4月に6団体で設立した団体です。2009年から2012年までの4年間でSP盤の48,700音源をデジタル化し、国立国会図書館に納品しました。本事業にご尽力いただいた国立国会図書館、金沢蓄音器館をはじめとした民間資料館、文化庁、SP盤関連有識者の方々、HiRAC参加団体そしてレコード会社関係各位に心より御礼を申し上げます。

当時のSP盤は録音媒体として音楽だけでなく貴重な演説、講演などの歴史的音声資料を記録していました。ところが近年、それらの歴史的・文化的資産であるSP盤は散逸の危機に直面し、またその金属原盤は経年劣化などの問題を抱えていました。そこで、この貴重な資料を残すための最後の機会として私がレコー

ド協会の会長を務めている時に各団体と一緒にHiRACを設立しました。デジタル化作業を開始するまでの準備期間は、現存するSP盤の内容・枚数調査やメタデータ作成のスキーム作りなどに多くの時間を割きましたが、当時SP盤作りに携わった方々の生存者が少なくなっているという問題も明らかになり、正に最後の機会でした。

一方、50年前に既に製造が終わっているSP盤をデジタル化するには、入手が困難な部品を調達し、技術的な検証を重ねる必要もありました。

このようにして、掘り起こされ、デジ



設立時記者会見での佐藤代表幹事

「個々のレコード会社でアーカイブを行うには限界があるが、再編が進むレコード会社の現状では既に（SP盤の）散逸は始まっている。今が残せるかどうかの岐路」と切実な現状を訴えた



タル化された音源は、現在、国立国会図書館をはじめ、公立図書館内や一部研究機関に提供されています。また、保護期間切れの一部音源はインターネットでの公開も行われています。

「音による文化史」とも言えるこれら貴重な資料が、できるだけ多くの研究者、音楽愛好者の方々に活用していただける機会を得ることを切望しています。

歴史的音盤アーカイブ推進協議会 [HiRAC=Historical Records Archive promotion Conference]

音の歴史を未来に伝えてゆくために・・・

HiRAC 設立の経緯

**東条英機首相の
施政方針演説を国会で SP 盤に収録、放送に
SP 盤は音による歴史資料**

1932年にドイツのAEG社が磁気テープ録音機を開発するまで、本格的に音を固定する手段はレコード盤のみであった。1910年に(株)日本蓄音機商会(現:日本コロムビア(株))が本格的にレコード事業へ参入すると、SP盤は大衆文化として音楽を伝える初めての複製物として普及し、磁気録音機が登場するまでは、講演や声明などを伝達するための重要なメディアでもあった。

当時唯一の放送事業者であった日本放送協会(NHK)でも、1937年頃からテレフケン円盤録音機を本格的に使用し始めた。大相撲中継で放送時間に収まらなかった取り組みをSP盤に録音し、後のニュースの時間に放送するなどの使われ方をした。しかしながら、当時は録音盤が貴重品であったため使用後に盤を回収し、表面の樹脂を塗り替えて再利用をしていた。貴重な音源は消えてしまっていたのである。

また、1941年には東条英機首相の施政方針演説を国会の議場で収録し、ラジオニュースで放送、その後も大臣の国会演説や戦況報告などをSP盤に記録し、放送に供した*1。これらは貴重な音盤である。

*1 戦争体験を体系的・総合的に整理・公開するNHKの「戦争証言アーカイブス」では「戦時録音資料」というコーナーで、「終戦の玉音放送」や「大東亜共同宣言」など、これらSP盤に記録された貴重な音源の一部が公開されている。

(戦争証言アーカイブス・戦時録音資料)
<http://www.nhk.or.jp/shogenarchives/>



**レコード会社統廃合、工場や録音スタジオの閉鎖、
もろく破損しやすいSP盤は散逸・消失・劣化の危機に**

一方、数多くあったレコード工場、録音スタジオなどでは、SP盤の消失や散逸が時間の経過とともに見られた。SP盤の製造の元となる金属原盤が保存されているケースもあったが、レコード会社の統廃合～工場・スタジオの売却、閉鎖などによる散逸・消失は進み、さらには経年劣化など、SP音源は消滅の危機に陥っていた。また、SP盤は材質状落下や衝撃に弱く、カビの発生などもありその保管に非常に気を遣うものでもあるため、経年劣化も深刻な課題であった。さらに、SP盤にはブックレットが存在しないため、収録曲情報(作詞家・作曲家・演奏家・演奏時間・・・など)に至っては、完全整備されているケースは皆無、当時の録音台帳が残っていても、にじみやかすれなどで判読が不可能なケースも多々あった。

**まずは保存を、今とりかからなければ
音楽関連6団体が集い、協議会を設立**

このような状況下、「音の文化史」とも言えるSP音源を保存し、後世に伝え続けてゆくために、当協会は、NHKならびに音楽関連5団体による参加6団体*2にて、歴史的音盤アーカイブ推進協議会を設立し、SP盤のデジタル化作業に着手することとなった。

*2 HiRAC参加団体(順不同)
日本放送協会 一般社団法人日本音楽著作権協会
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
公益財団法人日本伝統文化振興財団
特定非営利活動法人映像産業振興機構
一般社団法人日本レコード協会

SP盤 (standard playing) とは

78回転、片面演奏時間は2～5分程度。
レコードは合成樹脂が原料であるが、SP盤は天然樹脂のシェラック(貝殻虫の分泌物)が使われている。



破損したSP盤

■ HiRAC の活動と国立国会図書館（NDL）による歴史的音源公開まで

2006年8月	SP 原盤実態調査 WT 設置
2007年4月27日	歴史的音盤アーカイブ推進協議会設立
2007年6月	文化庁委嘱事業「音源のデジタルアーカイブに関する実証的調査研究」実施
2007年7月	技術検討部会設置、運用検討部会設置
2008年6月	文化庁委嘱事業「音源のデジタルアーカイブに関する実証的調査研究」実施
2009年	NDL との歴史的音源納品契約を締結、SP 音源のデジタル化作業に着手
2011年5月	NDL 館内での歴史的音源公開開始 NDL ウェブサイト（国立国会図書館デジタル化資料）にて、歴史的音源公開開始
2011年12月	金沢蓄音器館より同館所蔵の SP 盤を無償提供いただく *3
2012年1月	NDL が全国公立図書館へ歴史的音源を配信開始
2012年9月	NDL が研究機関等へ歴史的音源の配信を開始
2013年3月	4年間に及ぶ NDL への歴史的音源（総数 48,700 音源）の納品が完了

*3 デジタル化作業を進める過程で、劣化や散逸によりデジタル化が不可能な音源が収録された SP 盤を金沢蓄音器館が所蔵していることが判明。同館から無償提供いただきデジタル化を実施。

デジタル化作業に当たって

SP 原盤実態調査 WT

コストや作業期間など、デジタル化の概要を把握するため、最初に取り組んだのが、各レコード会社による「SP 盤・金属原盤・マスター原盤、ならびにそれらに付随する楽曲情報資料・台帳・データ」の保管状況調査である。ワーキングチームを設置し、調査により各社の保管実数ならびに保管状況をまとめた。

文化庁委嘱事業「音源のデジタルアーカイブに関する実証的調査研究」

アーカイブ実施に際して「保存状況、実数調査」「保存技術検証」「権利処理、利活用方法の検討」「プロトタイプ版作成」「有識者によるヒアリング」「音楽資料館調査」などの項目別による調査を2年間実施し、課題整理の上、報告書としてとりまとめた。

技術検討部会

盤の劣化や傷など、保存状態によって再生が困難な可能性がある他、通常プレーヤーでは再生不可能な金属原盤の再生など、様々な状況を考慮しつつ、長期保管に耐えうるデジタル化のため技術的検証を実施。金属原盤の再生検証、逆針・逆回転プレーヤーの製作と再生検証、再生針の太さ検証、メタデータ項目の検討などを行った。

運用検討部会

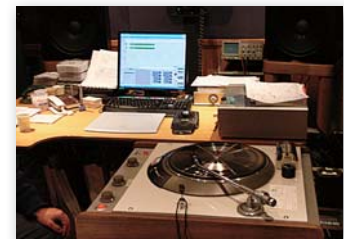
デジタル化に際する権利処理、NDL における利活用方法を検討。適切かつ円滑な権利処理を目指し、JASRAC、芸団協、NHK、レコード会社法務部門、NDL などのメンバーで、ネット配信、公共図書館配信までの利活用を見据えた検討を実施。

◆キングレコード尾久倉庫保管の「金属原盤」



サビや破損がみられる。背後のボール紙記載の原盤番号を DB 照合し楽曲情報を確認。DB 照合が不可の場合、金属原盤を再生しなければ何の曲が収録されているか不明といったケースなど、メタデータの精査は困難を極めた

◆金属原盤をメッキ処理し、再生検証



音溝が凹の金属盤（メタルマスター）のメッキ処理を行い、プレーヤーで再生検証実験を。マスターのサビや汚れがメッキにも忠実に複製され雑音の要因に

Topics

歴史的音源の一例 SP 盤の音源って？どんな音源があるの？

「ハムレット（生死疑問独白の場）／坪内逍遙」

シェイクスピア訳で有名な坪内逍遙。坪内逍遙訳のハムレットが、逍遙自身の声で語られる音源

「憲政に於ける世論の勢力／大隈重信」

聴衆の拍手も入った大隈重信の演説。ある種の話芸とも言える大名演

「山本元帥国葬模様」

連合艦隊司令長官山本五十六の国葬模様

「正宗孝子伝／（初代）桃中軒雲右衛門」

民法の不法行為で有名な著作権侵害訴訟「雲右衛門事件」で知られる桃中軒雲右衛門の浪花節。当時、絶大な人気を博した伝説の浪曲師の実演

「勝利の記録（一）開戦一十二月八日」

「臨時ニュースを申し上げます」ではじまる 1941 年 12 月 8 日の太平洋戦争開戦を伝えるニュース音源

国立国会図書館 [NDL =National Diet Library]

国立国会図書館のデジタル化資料と歴史的音源

「歴史的音源」もコンテンツとして含まれる、検索・閲覧が可能なデータベースサービス「国立国会図書館デジタル化資料」(<http://dl.ndl.go.jp/>)の構築とサービス提供を担当する、国立国会図書館関西館に伺い、総務課 川原裕樹係長、電子図書館課電子化資料提供係 奥田倫子主査のお二人に同館サービスについてご紹介いただいた。

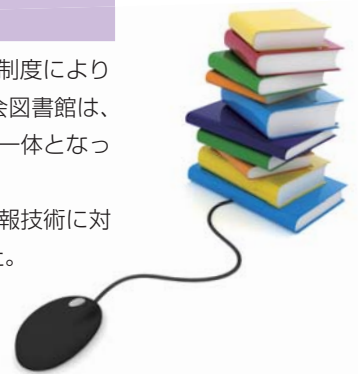


◆ 国立国会図書館の役割と関西館開館の経緯

年々増加する蔵書、急速な IT 発展に対応する新図書館サービス提供を目指した関西館

国立国会図書館は 1948 年に設立されました。日本で唯一の国立図書館であると同時に、法定納本制度により国内の出版物を網羅的に収集し、それらを整理の上、書誌データを作成し、提供しています。国立国会図書館は、国会、行政および司法の各機関、国民の方に対して、東京本館、関西館、国際子ども図書館の 3 施設が一体となって機能し、サービスを提供しています。

関西館は、東京本館の書庫が満杯になるという予測のもと、新たな大規模収蔵施設の確保と、高度情報技術に対応した新たな図書館サービスの提供という 2 つの目的で 2002 年に開館し、昨年 10 周年を迎えました。関西館の主な機能として「図書館協力事業」「資料提供サービス」歴史的音源も該当する「電子図書館事業」があります。



◆ 関西館の「電子図書館事業」とデジタル化資料

原資料保存のため、インターネットからの利用を可能とするため

「電子図書館事業」の一環として、資料のデジタル化を行っています。資料デジタル化の主たる目的は「原資料保存」「インターネットからの利用を可能とする」の 2 点です。1998 年に「デジタル貴重書展」で当館所蔵の古典籍資料の画像提供を開始したのを皮切りに、2001 年から所蔵図書 of デジタル化に着手し、その後 2009 年から 3 年間かけての「大規模デジタル化事業」

により、蔵書のデジタル化が大幅に進みました。デジタル化資料は国立国会図書館館内で提供するほか、著作権処理の済んだものからインターネット公開も行っています。2011 年には「国立国会図書館デジタル化資料」のサービスを開始し、HiRAC から納入された歴史的音源も同データベース上で公開しました。

ネットでの閲覧を通じ「いつでもどこからでも」「より多くの方へ」様々な形態の資料を 1 つのプラットフォームで提供する苦勞

2013 年 3 月末時点でのデジタル化資料の提供数は 225 万点、そのうち館内限定提供数は 178 万点、インターネット公開点数は 47 万点にも及びます (図 1)。「日本占領関係資料」は文書資料であり、出版されていない紙資料です。「歴史的音源」もそうですが、様々な形態・性質の資料を「デジタル化資料」として一つのプラットフォームで提供するには、書誌情報の項目の持たせ方など苦勞は多いです。

インターネット (<http://dl.ndl.go.jp/>) では、アクセス数ランキングも公開しています。1930 年に発禁処分を受けた書籍『エロエロ草子』、東日本大震災翌日 2011 年 3 月 12 日発行の『石巻日日新聞』などが上位に入っています。また、近年では、当館デジタル化資料に対する転載依頼も増えています。特に依頼が多いのは、電子展示会「近代日本人の肖像」のコンテンツや、色彩情緒溢れる錦絵などです (2012 年転載依頼実績 :4,299 件)。

◆ 歴史的音源について

専用ページ「れきおん」の開設 ジャナル別音源検索、有識者による音源開設なども掲載

本年 3 月に、「歴史的音源」専用ページ (れきおん) (<http://rektion.dl.ndl.go.jp/>) (図 2) を新たに開設しました。音源の視聴画面は従来と変わりませんが、専用ページでは、デジタル化資料の中でも特殊な形態である「歴史的音源」に特化した画面構成

になっており、邦楽、流行歌・歌謡曲、落語・漫才・浪曲・講談などジャンル別による音源検索の簡易化、さらにテーマに沿った音源解説「音源紹介」などを掲載し、より使いやすい便利な画面構成になっています。

◆ 歴史的音源を聴くには

国立国会図書館館内、配信提供参加館、インターネットにて視聴

歴史的音源は国立国会図書館館内、配信提供参加館館内、インターネット視聴で聴くことが可能です。インターネット視聴は著作権処理の済んだ音源のみ可能ですが、配信提供参加館館内と国立国会図書館館内ではすべての音源を聴くことができます。当館から全国の公立図書館へ音源を配信提供しているのですが、都道府県立レベルの大規模図書館ならびに研究機関が主たる参加館で

す。本年3月時点では公立図書館104館、研究機関5館への配信提供が行われており、ドイツの国際交流基金ケルン日本文化会館図書館も参加館として配信提供が行われています。これら施設では当館と同じ条件での視聴が可能となっています(参照：http://dl.ndl.go.jp/ja/rekion_librarylist.html) (図3)。

歴史的音源の公開状況 SP音源ならではの苦労や課題も

公開後の状況としては、一般的に図書館職員が古い音源を扱うことに慣れていないため、手探りの案内方法にならざるを得ない実情に加え、SP盤と聞いてピンとくる世代の方々はPC端末での視聴操作に手間取るケースが多いなど、徐々に課題が見つかっています。

先日当館が歴史的音源をテーマとして実施した図書館員向けの「デジタル化資料活用研修会」では、「プレイリスト」の作成レクチャーを行いました。SP盤は収録時間が短いため、落語や演説などが、その(1)その(2)と分かれて収録されています。連続視

聴用の「プレイリスト」を作成することで快適な視聴が可能となります。

また音楽の場合、問合せのキーがタイトルではなく、「〇〇の番組で使われていた曲」など、あいまいな情報による質問が多いという意見があります。メタデータの備考欄にこのような補足情報を追加できれば良いのですが、現実的には厳しいです。メタデータの精査、補足情報の整備は、インターネット公開音源の増加にもつながりますし、今後の利活用促進にむけた重要な課題と考えています。

(図1) 国立国会図書館のデジタル化資料と提供数

国立国会図書館デジタル化資料 <http://dl.ndl.go.jp/>



<http://kindai.ndl.go.jp/>

「近代デジタルライブラリー」は「国立国会図書館デジタル化資料」のうち、インターネットから利用可能な図書・雑誌のみ検索・閲覧するサービス

著作権処理が完了していない資料は、国立国会図書館内でのみ閲覧可能(歴史的音源は配信参加館内でも視聴可能)。

資料種別	インターネット公開	館内限定提供	合計
古典籍資料	7万点	2万点	9万点
図書	34万点	55万点	89万点
雑誌	0.5万点	104.5万点	105万点
新聞(石巻日日新聞)	7点	-	7点
歴史的音源	765点	4万点	4万点
官報	2万点	-	2万点
博士論文	1.5万点	12.5万点	14万点
憲政資料	140点	-	140点
日本占領関係資料	1.7万点	700点	1.7万点
プランケ文庫	-	0.3万点	0.3万点
合計	47万点	178万点	225万点

(参考) アクセス数 120万/月 15万/月

(図2) 「歴史的音源」専用ページ(れきおん)

<http://rekion.dl.ndl.go.jp/>



「歴史的音源」視聴画面

(図3) 歴史的音源の公開状況



第48回 RIAJ セミナー「新入社員合同研修会・懇親会」開催

4月5日、東京都港区の共同通信会館会議室において、当協会会員社新入社員を対象とする RIAJ セミナーが開催された。61名が参加した第一部の研修会では、冒頭、当協会北川会長より「狭き門をくぐり抜け晴れて音楽業界に入社した新入社員の皆さんへ」と、歓迎と期待を込めた熱いエールが挨拶として送られた。引き続き、当協会畑理事より当協会の概要紹介がなされた後、広報部宮島課長補佐による「レコード業界について」、法務部楠本副部長による「レコードに関する著作権の基礎知識」をテーマとした講義が行われた。音楽産業の市場規模や著作権、各種使用料の徴収・分配、また、昨年10月に施行された「私的違法ダウンロード罰則化」に係る改正著作権法など、密度の濃い講義内容に、質疑応答では予定時間をオーバーする程の質問が飛び交った。

研修会終了後の懇親会では、希望に満ちたフレッシュな新人達を前に、会員社を代表して日本コロムビア（株）奥野恒人人事部部長より激励の言葉とともに乾杯の挨拶がなされた。その後、歓談の合間には、各社ごとの自己紹介が行われ、個性溢れるスピーチやパフォーマンスなど、リラックスした雰囲気のもと活気に満ちた賑わいが見られた。最後にユニバーサル ミュージック合同会社齋藤洋子人事総務第1本部長より「この日のことを忘れずに、日々成長して行ってほしい」とのメッセージが送られ、閉会となった。



日本コロムビア株式会社



ビクターエンタテインメント株式会社



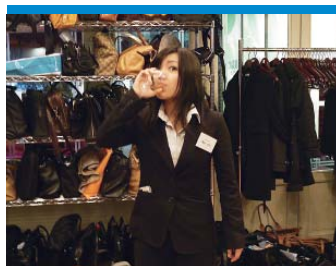
キングレコード株式会社



株式会社ティチクエンタテインメント



ユニバーサル ミュージック合同会社



日本クラウン株式会社



株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ



株式会社ポニーキャニオン



株式会社ワーナーミュージック・ジャパン



株式会社パップ



エイベックス・グループ・ホールディング株式会社



クラウン徳間ミュージック販売株式会社

RIAJセミナー「新入社員研修」を終えた新入社員に対し、アンケートを行った。回答の一部を紹介する。

レコード業界（会社）への志望動機

- 世の中に新たな流行りを生み出したいからです。
- 小さいころから歌うことが大好きで、“音楽を生み出し届ける”というすべての工程に関わりたいと思うようになりました。私の実家はとても不便な田舎にあるのですが、そんな場所でも音楽は必ず届くということを身を持って体験したため、これから仕事を通じて地方に良質な音楽をもっとダイレクトに伝えていきたいです。
- 音楽が好きで、色々な音楽に触れている中で、ビジネスの視点を持って音楽に触れるようになりました。その中で、音楽が売れないという時代を自分自身を変えたいと思い、志望いたしました。
- エンターテインメントの魅力を一人でも多くの人に届けたいから。著作者と受け手の距離をより身近なものにし、作品としての商品の考え方を広めていきたいから。
- 日本の音楽業界の現状として、8割強が邦楽で占められている、その中で洋楽が好きなのは、洋楽の日本へのディストリビューションに関わる仕事をしたいと思ったから。また、世界第2位の音楽市場を持ちながら、海外で認知されているアーティストは数少ないため、日本の音楽の海外へのディストリビューションに携わりたいと思ったため。

研修会感想

1. レコード業界について

- 学生の頃は華やかな世界を想像していましたが、権利やマナー等の多くの知識や経験が必要と感じました。
- 単純に売り上げが下がっているだけでなく、日本独特な現状（パッケージが伸びて、配信が落ちている）も理解できた。これからの業界の先行きは法改正だと思うので、注視していきたい。
- 技術や時代が経過することにつれ、法律や権利、楽しみ方も多様なものになっていると感じた。今後もそうなると思うので、「音を楽しむ」という普遍的なマインドを常に発信していきたい。
- 多くの会社が競合他社でありながら、協力し合っているという業界であることを改めて認識し、業界全体で盛り上がっていきたいと思いました。
- 純粋に音を売ってだけでなく、売り方や場所、身近に聞けるものだからこそ、買っていただく機会を作っていきたいと思えます。媒体を問わず。

2. レコードに関する著作権の基礎知識

- 聞き慣れない、聞いたこともない言葉がたくさん存在しており、非常に複雑だという印象を持った。仕事をする中で、一つ一つ確認しながら覚えていきたい。
- 私は「知財ゼミ」に入室していたので、多少知識はありましたが、改めて業界目線で学び直します。
- 音楽を製作する者、音楽を使っていく者の権利や、利害関係が複雑に絡んでいることが分かりました。レコード会社に就職した人間として、音楽の取扱いには充分注意を持って仕事をしたいです。
- 著作権の種類についても学べましたが、徴収率や違法DLの取り締まりなど、完全には防ぎ切れないことに悔しさを覚え、大切に考えていきたいと思いました。
- 違法ダウンロードに関するデータが興味深かったです。音楽業界を守るということは、アーティストを守ることに直接的につながると思えますので勉強します。
- 「著作権」という単語は生活の中でよく聞くことがあります。しかし、その権利は誰が誰に対して行使するのかを本日まで認識していなかった。

その他

- 音楽産業の推移や売り上げのこと、時代の変化を気にするのも大事ですが、「音楽を守ろう」という精神は絶対に忘れてはいけないと改めて感じました。
- 今回の勉強会でレコード業界の横のつながりが持てたこと、全体の問題意識、現状を知ることができたこと、本当に勉強になりました。ありがとうございました。
- 本日は大変勉強になる研修をありがとうございました。レコード業界は横のつながりが強いというお話がありましたが、様々な机上の同期の皆さんと一緒に研修を受けることができ、レコード業界を皆で成長させていきたいという思いが強くなりました。
- 自分がこの業界の一員なんだということを改めて感じ、頑張ろうという意欲も高まりました。ありがとうございました。

第3回香港アジアポップミュージックフェスティバル (HKAMF) 開催

3月22日、香港コンベンション&エキシビジョンセンター (HKCEC) において「第3回香港アジアポップミュージックフェスティバル (HKAMF)」が開催された。HKAMFは国際レコード産業連盟 (IFPI) 香港グループが主催、香港政府の助成を受け、「Music in One Asia (音楽でアジアを一つに)」をテーマに東アジア7カ国・地域 (日本・中国・韓国・台湾・香港・マレーシア・シンガポール) が参加し実施されるもので、当協会も趣旨に賛同し開催に協力している。2011年に「エンターテインメント・エキスポ 香港」の核となるイベントの一つとして第1回が開催され今年が3年目となるが、毎年各国・地域を代表する新人アーティスト・有名アーティストが参加することで香港を代表する音楽イベントへと成長した。



◆ HKAMF の概要

HKAMFでは、アジア全域で活躍する新人アーティストを発掘することを目的とし、各国・地域の新人アーティストが参加するコンテストが行われる。また、各国・地域を代表する有名アーティストをゲストに迎え、パフォーマンスを披露する構成となっている。

日本からは、2011年にデビューした男性ボーカルユニットのBREATHE (エイベックス・エンタテインメント (株)) が新人コンテストに出場、有名アーティストとしてwinds.のボーカルとしてアジア全域で活躍し、今年ソロ活動をスタートしたKEITA ((株) ポニーキャニオン) が参加した。また、スペースシャワーネットワーク清水英明代表取締役社長が、新人コンテストの日本代表審査員を務めた。

◆ スケジュール

3月21日夕方、香港のマスコミ向けにHKCECの別室にて記者会見が行われた。記者会見には新人アーティスト・有名アーティスト・審査員などが一堂に会し、主催者の挨拶、参加者へのインタビューと全体の写真撮影、各アーティストの囲み取材などが和やかな雰囲気で行われた。

翌22日夜、HKAMF2013はHKCECで約8,000人の観客を集め華やかに開催され、3時間におよぶショーは熱狂の中終了した。日本からのゲストアーティストのKEITAはショーのトップバッターとして「Slide'n'Step」「Shame on me」を披露し、現地のファンから多くの声援が上がった。新人コンテストでは、7カ国・地域の代表が第一ラウンドで自身の持ち歌を披露し、BREATHEはデビュー曲の「合鍵」を披露した。第一次審査で、ヴォーカルパフォーマンス賞にマレーシアのMOJO、ステージパフォーマンス賞に中国のMIC男団が選ばれた。その後第二ラウンドに進んだ3組がカバー曲を披露し、審査の結果、第二ラウンドのカバー曲でアカペラとダンスを披露した中国のMIC男団が第3回スーパーノヴァに選ばれた。

尚、同フェスティバルの様子は、スペースシャワーTVにて放映の予定である。(敬称略)

◆ 7カ国・地域の出演アーティスト

新人コンテスト

<コンテスト・アーティスト>

日本: BREATHE	シンガポール: MICappella
中国: MIC 男団	台湾: 曾昱嘉
韓国: Andamiro	香港: Sita Chan (陳僖儀)
マレーシア: MOJO	

<受賞結果>

スーパーノヴァ賞	中国 / MIC 男団
ヴォーカルパフォーマンス賞	マレーシア / MOJO
ステージパフォーマンス賞	中国 / MIC 男団
WeChat 人気投票	中国 / MIC 男団

<ゲストアーティスト>

日本: KEITA	マレーシア: Aniu (阿牛)
中国: Mou Mou Wu・Daimo	シンガポール: Kit Chan (陳潔儀)
Li from "The Voice of China (中国好声音)"	台湾: Aaron Yan (炎亞綸)
韓国: 少女時代	香港: Kay Tse (謝安琪)

◆ 放送スケジュール

スペースシャワーTV

「第3回香港アジアポップミュージックフェスティバル」

初回放送: 5月11日 (土) 21:00 ~ 22:00

* リピート放送: 5/13 (月) 23:00 ~、5/19 (日) 20:00 ~、5/30 (木) 20:00 ~、6月予定



記者会見の様子



日本からのゲストアーティストの KEITA



新人コンテスト出場のBREATHE



スーパーノヴァ賞を受賞した中国の MIC 男団

ヒット曲で 振り返る 昭和



歌は世につれ世は歌につれ—。

音楽評論家・反畑誠一氏の執筆のもと、

時代を彩ったヒット曲から、激動の「昭和」を追想する。

昭和 55 年 (1980)

S55「昴／（唄）谷村新司」

（作詞・作曲） 谷村新司

「昴」は、牡牛座（おうしざ）にある散開星団の名で、統（すばる）から一つにまとまるの意味がある（「広辞苑」）。昭和55年1月25日、フォークグループ・アリス（谷村新司、堀内孝雄、矢沢透）の育ての親である細川健が株式会社ポリスターを創立。話題の「昴」は、4月1日、新レーベルからリリースされた。谷村は「ある種『決別』の歌なのです」と語る。「大きな組織の中では駒になって動かしにくいでしょう。それは仕方がないことかもしれないけど、ぼくはそうしなかった。それで自分たちで新しいレコード会社を作って夢を追いかけられるようにした。とにかく俺は行くんだ、という決別の歌なのです」（富澤一誠『フォーク名曲事典300曲』より）。

「私もゆく さらば昴よ」「我はゆく さらば昴よ」。サラリーマン愛唄の歌詞は、引越越しのため運送会社の社員と一緒に荷造りしていた際、ダンボール箱に思いついたことを書いてきたそうである。テレビ番組で「引越すと歌が生まれる」と明かしていた谷村伝説の一端だ。「昴」はNHK紅白歌合戦で5回も歌っており、第42回（平成3年）には大トリで披露した。多数の歌手のカバーバージョンもあり、中でも美空ひばりが持ち歌としていたことは有名である。

一方では、その人気は国内に止まらず東南アジア、特に中国語圏でも人気楽曲に

なっていた。アリスの中国公演でも披露しており、知名度も高く現在も愛唱されている。直近では平成22年の上海万博の開会式で谷村自らが歌唱した。谷村は、平成15年から上海音楽院の教授に就任。「実は生き方をもう一度確認するために、活動を白紙に戻したので」と語っている。シンガー・ソングライターとして常に厳しい環境を設定しながら歩み続ける姿勢は今でも変わっていない。

谷村の42年間の音楽活動歴の一つに、チョー・ヨンピル（韓国）、アラン・タム（香港）と3人で、音楽を通じてアジアの文化交流を目指す「PAX MUSICA」を昭和59年から開催してきた。第1回は後楽園球場（現東京ドーム）で開かれた。画期的な企画であり、新たな挑戦であった。「昴」のヒット後の時期であり、「荒野に向かう道より 他に見えるものはなし」を地で行く、前人未踏の挑戦であった。球場に響き渡る自らを鼓舞するように歌う「人生の応援歌」であった。

テレビゲームのスペース・インベーダー人気とピンクレディー旋風が去り、やがてたのきんトリオ、松田聖子らのデビューでネオアイドルブームが訪れる。レコード産業は拡張の時代に入る。



発売元：株式会社ポリスター

JASRAC 出1305123-301

ジャケット写真協力：一般財団法人古賀政男音楽文化振興財団

S55「さよならの向う側／（唄）山口百恵」

（作詞）阿木耀子 （作曲）宇崎竜童

女性アイドル・ポップスも昭和50年代の音楽シーンの特色である。人気番組「スター誕生！」（日本テレビ系）は、第1回優勝の森昌子に続き、桜田淳子、山口百恵を芸能界に送り出し、ブームのきっかけを作った。昭和47~48年にかけてデビューした3人は同じ年ゆえ「花の中3トリオ」と名付けられ、アイドルの優等生と言われた。山口百恵は、昭和47年12月に放送された「スター誕生！」では準優勝。「デビューの頃は地味で無口な中、強烈な陰を感じました。13歳ゆえ音域は狭かったですが…。音楽プロデューサー酒井政利氏の初印象である。未だに伝説的存在の山口百恵のヒット曲のメカニズムを語るとき、酒井氏は不可欠な存在だ。

「中3トリオ」の3番目の席を与えられてラッキーだったと思います。森、桜田は思人でもあるわけです。酒井氏ならではの独特の着眼点である。「明に対する暗で、私はその“陰”を強調しました。『冬の色』（千家和也作詞・都倉俊一作曲）はその代表的な楽曲です。百恵のデビュー2年目、アルバム『15才』と同時にリリースされた。歌唱力について「これで開眼した」と酒井氏は思ったという。酒井氏存在は、ポピュラー音楽史に残るカリスマ的なA&Rとして、昭和の40~50年代を駆け抜けた「百恵伝説」の創出者でもある。

酒井氏は、「ひらめき」を大事に、聞き手をいい意味で裏切ることには神経を注いできた。例えば、動の「横須賀ストーリー」の次は静の「秋桜」。動の「プレイバックPart2」には、

静の「いい日旅立ち」のように、ちなみに「秋桜」（作詞・作曲ともにさだまさし、昭和52年）の原題は「小春日和」だった。

国鉄の「ディスカバー・ジャパン」キャンペーンソングになった「いい日旅立ち」（谷村新司作詞・作曲）では、「イメージ通りの昭和の唱歌ができた」という。百恵がデビューした昭和48年秋は、オイルショックに見舞われ、語り草になっているトイレトペーパーの買い占め騒動が起きた頃。デビューから昭和50年まで、「ひと夏の経験」に代表される千家・都倉コンビの作品が大半を占めた。「歌謡曲には空や海を題材とする“抒情”の系譜がありますが、日常の世界を歌わせたかったのです」。

昭和55年3月、百恵は三浦友和と婚約を発表。「ロックンロール・ウィドウ」に続いて、8月、「さよならの向う側」「一恵」（横須賀恵作詞・谷村新司作曲）をラストソングに潔く芸能生活にピリオドを打った。百恵・友和は同年、11月19日、都内の教会で挙式した。

あれから33年。山口百恵引退後の作品のディスコグラフィは、アナログシングル3枚、同LP・BOX5枚、CDシングル22枚、CDアルバム・BOX102枚、カセット14本、MD3枚、ビデオ・LD・DVD・BD20本にも達しており、現在もレコード業界の至宝である。



ジャケット写真協力：一般財団法人古賀政男音楽文化振興財団
株式会社ソニー・ミュージックダイレクト

当時の出来事

S55：（エンタメ業界）

- ・日本武道館で山口百恵引退公演、自叙伝「蒼い時」350万部のベストセラーに
- ・貸レコードの黎紅堂、東京三鷹に開店
- ・前年より現れ始めた「竹の子族」ブームに
- ・松田聖子デビュー
- ・ポール・マッカートニー成田空港にて逮捕
- ・ジョン・レノン、NYで射殺される
- ・黒澤明監督「影武者」カンヌ国際映画祭最優秀グランプリ
- ・映画「クレイマー、クレイマー」「地獄の黙示録」公開

- ・女性向け求人誌「とらばーゆ」創刊
- ・鳥山明「Dr. スランプ」連載開始

（その他一般）

- ・日本の自動車生産、世界一に（年間生産1,100万台突破）
- ・冬季五輪レークブラッド大会開催
- ・国家公務員の週休2日制実施決定
- ・ロッテ・オリオンズ張本勲3,000本安打達成
- ・気象庁、東京地方で「降水確率予報」開始
- ・モスクワ五輪開幕、日本不参加
- ・都内の校内暴力が前年比44%増

- ・イラン・イラク戦争勃発
- ・長嶋茂雄、巨人軍監督を辞任
- ・巨人軍・王貞治引退
- ・タバコ値上げ、セブンスター180円に
- ・大塚製薬「ポカリスエット」発売（120円）
- ・任天堂、ゲーム機「ゲーム&ウォッチ」発売（シルバーシリーズ5,800円）
- ・タカラ「チョコQ」発売（390円）
- ・「ルービックキューブ」発売、爆発的ヒット（1,980円）
- ・TOTO「ウオッシュレット」発売（G型14万9,000円）



反畑誠一（音楽評論家）
立命館大学産業社会学部
客員教授（『ポピュラー音楽概論』）、日本音楽著作権協会理事、日本レコード大賞常任実行委員

Monthly Production Report

2013年3月度レコード生産実績

3月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比118%の2,593万枚・巻、金額で同112%の290億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比125%の1,917万枚・巻、金額で同112%の199億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比102%の676万枚・巻、金額で同112%の91億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			3月実績						2013年1月～2013年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
シ	8cmCD	邦	2	0	8%	1	0	6%	4	0	19%	3	0	14%
		洋	0	0	100%	0	0	0%	0	0	200%	0	0	99%
		計	2	0	9%	1	0	6%	5	0	19%	3	0	14%
ン	12cmCD	邦	3,873	20	107%	3,119	16	104%	13,224	28	108%	9,356	20	105%
		洋	124	1	32%	97	0	47%	159	0	29%	114	0	33%
		計	3,996	21	99%	3,216	16	100%	13,383	29	105%	9,470	20	102%
ル	小計	邦	3,874	20	106%	3,120	16	103%	13,229	28	108%	9,359	20	105%
		洋	124	1	32%	97	0	47%	159	0	29%	114	0	33%
		計	3,998	21	99%	3,217	16	99%	13,388	29	105%	9,473	20	102%
12cmCD アルバム	邦	12,196	64	154%	13,792	69	121%	25,643	55	106%	30,471	65	98%	
	洋	2,775	14	90%	2,660	13	92%	7,131	15	85%	6,341	14	81%	
	計	14,971	78	136%	16,452	83	115%	32,774	70	101%	36,811	79	95%	
CD 合計	邦	16,070	84	139%	16,912	85	117%	38,872	83	107%	39,830	85	100%	
	洋	2,899	15	84%	2,757	14	89%	7,290	16	82%	6,455	14	79%	
	計	18,969	99	126%	19,669	99	112%	46,162	99	102%	46,284	99	96%	
アナログ ディスク	邦	4	0	438%	5	0	210%	35	0	65%	46	0	350%	
	洋	10	0	278%	15	0	393%	31	0	181%	50	0	267%	
	計	13	0	310%	20	0	320%	66	0	93%	96	0	301%	
カセット テープ	邦	152	1	72%	120	1	74%	405	1	76%	328	1	77%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%	
	計	152	1	72%	120	1	74%	405	1	76%	328	1	77%	
その他	邦	8	0	61%	13	0	94%	28	0	62%	39	0	85%	
	洋	22	0	33%	34	0	34%	74	0	46%	141	0	50%	
	計	30	0	37%	47	0	41%	102	0	50%	180	0	55%	
合 計	邦	16,234	85	138%	17,050	86	117%	39,340	84	106%	40,242	86	100%	
	洋	2,931	15	83%	2,806	14	87%	7,396	16	81%	6,646	14	79%	
	計	19,165	100	125%	19,856	100	112%	46,735	100	101%	46,888	100	96%	

● 音楽ビデオ

			3月実績						2013年1月～2013年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD	邦	5,849	87	98%	6,730	74	98%	13,396	88	95%	14,958	74	105%	
	洋	275	4	61%	286	3	78%	517	3	32%	600	3	36%	
	計	6,124	91	96%	7,016	77	97%	13,913	91	89%	15,558	77	97%	
Blu-ray Disc	邦	587	9	238%	1,987	22	212%	1,247	8	238%	4,440	22	252%	
	洋	48	1	696%	118	1	502%	77	1	64%	191	1	60%	
	計	635	9	250%	2,104	23	219%	1,324	9	205%	4,631	23	223%	
テープ・その他		1	0	116%	2	0	80%	2	0	112%	3	0	90%	
合 計	邦	6,438	95	104%	8,718	96	112%	14,644	96	100%	19,401	96	121%	
	洋	323	5	70%	404	4	103%	595	4	34%	791	4	40%	
	計	6,761	100	102%	9,123	100	112%	15,239	100	93%	20,192	100	112%	

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

			3月実績						2013年1月～2013年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ			19,165	74	125%	19,856	69	112%	46,735	75	101%	46,888	70	96%
音楽ビデオ			6,761	26	102%	9,123	31	112%	15,239	25	93%	20,192	30	112%
合 計	邦		22,672	87	126%	25,769	89	115%	53,984	87	104%	59,643	89	106%
	洋		3,254	13	81%	3,211	11	89%	7,990	13	74%	7,437	11	71%
	計		25,926	100	118%	28,979	100	112%	61,974	100	99%	67,081	100	100%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

			3月実績						2013年1月～2013年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD			9,855	82	96%	14,316	67	89%	23,251	82	90%	33,319	67	86%
テープ・その他			2,175	18	239%	7,105	33	235%	5,266	18	144%	16,459	33	160%
合 計			12,031	100	107%	21,422	100	112%	28,517	100	96%	49,778	100	102%

● オーディオ/ビデオ合計

			3月実績						2013年1月～2013年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ			19,165	61	125%	19,856	48	112%	46,735	62	101%	46,888	49	96%
ビデオ			12,031	39	107%	21,422	52	112%	28,517	38	96%	49,778	51	102%
合 計			31,196	100	118%	41,278	100	112%	75,252	100	99%	96,667	100	99%

備考 1.本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● プラチナ

Goodいくぜ!	Kis-My-Ft2	2013.03.27	AMI
MIRACLE	三代目 J Soul Brothers	2013.01.01	AMI
TIME	東方神起	2013.03.06	AMI
ファンキーモンキーベイビーズ LAST BEST	FUNKY MONKEY BABYS	2013.03.27	DRM

● ゴールド

佐村河内守:交響曲第1番 HIROSHIMA	大友直人指揮、東京交響楽団	2011.07.20	C
sakanaction	サカナクション	2013.03.13	V
湘南乃風 ~2023~	湘南乃風	2013.03.06	TF
guitarium	miwa	2012.03.14	SR
人生×僕=	ONE OK ROCK	2013.03.06	ASI

シングル

● トリプル・プラチナ

Calling/Breathless	嵐	2013.03.06	JA
--------------------	---	------------	----

● プラチナ

キ・ス・ウ・マ・イ ~ KISS YOUR MIND ~ / S.O.S (Smile On Smile)	Kis-My-Ft2	2013.03.27	AMI
君の名は希望	乃木坂46	2013.03.13	SR

● ゴールド

Yin Yang/涙をぶっとばせ!!/おいしい秘密	桑田 佳祐	2013.03.13	V
ANIMAL	GENERATIONS from EXILE TRIBE	2013.01.30	AMI
怪・セラ・セラ	山下 智久	2013.03.13	WJ

ビデオ

● プラチナ

KANJANI∞ LIVE TOUR !! 8EST ~みんなの想いはどうなんだい? 僕らの想いは無限大!!~	関ジャニ∞	2013.03.13	TE
EZ DO DANCERCIZE	TRF	2012.06.30	AMI

● ゴールド

BUMP OF CHICKEN GOLD GLIDER TOUR 2012	BUMP OF CHICKEN	2013.03.06	TF
B'z LIVE-GYM 2008 -ACTION-	B'z	2013.01.30	BG

洋楽

アルバム

● ゴールド

レ・ミゼラブル〜サウンドトラック	V.A.	2012.12.26	UM
------------------	------	------------	----

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万ごとに賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ **AMI**: エイベックス・マーケティング / **ASI**: A-Sketch / **BG**: ビーイング / **C**: 日本コロムビア / **DRM**: ドリーミュージック・/ **EMI**: EMI ミュージック・ジャパン / **ES**: EPIC レコードジャパン / **JA**: ジェイ・ストーム / **SR**: ソニー・ミュージックレコーズ / **TE**: テイチクエンタテインメント / **TF**: トイズファクトリー / **UM**: ユニバーサルミュージック / **V**: ビクターエンタテインメント / **WJ**: ワナーミュージック・ジャパン

有料音楽配信(「着うた®」他)

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

「着うたフル®」

邦楽

● プラチナ

結婚闘魂行進曲「マブダチ」	氣志團	2004.11.24	EMI
---------------	-----	------------	-----

● ゴールド

B・BLUE	BO φ WY	2005.12.24	EMI
なみだの日	lecca	2008.02.13	AMI

洋楽

● ゴールド

パーティー・ロック・アンセム	LMFAO	2011.04.13	UM
----------------	-------	------------	----

「PC 配信(シングル)」

邦楽

● プラチナ

チェリー	スピッツ	2006.03.24	UM
今のキミを忘れない	ナオト・インティライミ	2011.02.16	UM

● ゴールド

VOICE	AI	2013.01.16	EMI
じょいふる	いきものがかり	2009.09.23	ES
Time goes by	Every Little Thing	2002.06.01	AMI
にんじやりばんばん	きゃりーぱみゅぱみゅ	2013.03.13	WJ
紙飛行機	コブクロ	2012.11.28	WJ

洋楽

● ダブル・プラチナ

ピリーヴ	シェネル	2012.06.20	EMI
------	------	------------	-----

● ゴールド

バイフォン feat. ウィズ・カリファ	マルーン 5	2012.06.20	UM
----------------------	--------	------------	----

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

テレビ東京では、4月より毎週日曜日に「大人の音楽キャンペーン」に連動した“Age Free”なアーティストや音楽を紹介する新番組『ザ・ミュージック』をスタートしました。

『ザ・ミュージック ★その調べは神様からのギフト★』

日本レコード協会「大人の音楽～Age Free Music～キャンペーン」連動番組

世代を、時代を超えて愛されるアーティストがいます。この番組では、そんな“Age Free”なアーティストに密着。彼らの「今の」活動を描き出しつつ、音楽の原点や思い出の場所を巡りながら、音楽人生を紹介します。

放送局：テレビ東京

放送日時：毎週日曜 24：35～25：05

平成25年4月～9月放送予定

出演者：「Age Free Music」を表現するアーティスト

ナビゲーター／平愛梨、富澤一誠（音楽評論家）



THE RECORD No.642 2013年5月号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 北川直樹

編集人 田口幸太郎

発行日 2013年5月10日

発行 一般社団法人 日本レコード協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F

TEL: 03-5575-1301 (代) FAX: 03-5575-1313

URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

取材時NDL関西館では、「花ひらく少女歌劇の世界」展が開催されていました。同館総務課の田中氏によると「少女歌劇」とは、女性のみで演じるミュージカルやレビューなどの舞台上、日本独特の演劇形態だそうです。同館所蔵の劇団年史、脚本、写真集などの膨大な展示資料とともにその発展史を迎える展示内容で、宝塚歌劇団の「すみれの花咲く頃」など「歴史的音源」の視聴コーナーも設置されていました。

当初、宝塚歌劇団や松竹歌劇団程度のみでの認識でしたが、百貨店や鉄道会社、遊園施設などを母体に、戦前の隆盛期は日本各地で多くの歌劇団が結成され、観光地や沿線開発の目玉として人気を博したとのこと。各劇団それぞれ熱狂的ファンが活動を盛り上げていた様子が窺え、まさに現代の地域密着型「ご当地アイドル」と同様の存在だった様子です。(T)